

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 学校法人嶺南学園敦賀気比高等学校付属中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒 914 - 8558

E-mail y.nunokawa@tsurugakehi.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 44 名 女子 28 名 合計 72 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（社会福祉）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

はじめに

本校は、2012年10月にユネスコスクールに認定され、それ以降、ユネスコスクールとしての活動を行っている。昨年度の活動（中池見湿地を中心とした活動）を今年度は敦賀市全体へと広げ、従来の活動の枠にとらわれず、より持続発展的な活動を目指している。

活動体制

総合的な学習の時間は1年～3年の全校生徒72名を、学年混合の縦割りの8班体制にし、班別に研究テーマを決定し活動した。上級生から下級生に向かってそれぞれの研究の方法などについての学びの場の継承を意識、持続可能な活動を目指した。

またこの班体制とは別に、機会を捉え、1年生代表生徒がエネルギー学習の一環として、高レベル放射性廃棄物の処分方法について語り合うサミットに参加し、島根大学付属中学、神奈川大学付属中学、六カ所第一中学、刈羽中学、京都光華中学等の代表生徒との交流を図ったり、3年生が国際交流学習の観点から、大学の先生や学生の方々と交流を図ったりした。

活動内容

1. 中池見湿地にて、年4回の水質調査の実施。

(2015年4月28日、7月4日、10月3日、11月28日)

中池見各所の小川のPh、導電率を調査。中池見の水質は、アルカリ性の水質と酸性の水質が入り交じっており、生物の多様性につながっていることなどを調査している。(環境活動)

2. 中池見湿地にて、稲作を実施。

田植え、除草、稲掛け、精米等の作業を人力にて実施。無農薬米を作り、千歯抜き、唐箕などを用いて、精米した後、おにぎり、カレー等を作る。

無農薬米を作る体験を通して、実際にその米を食することで、食の安全面についても食育の観点から学習した。

また、千歯抜き、唐箕などをNPO法人なかいけみネットの方の指導の下、使用し、田植えから除草、稲架掛け、脱穀、精米と昔ながらの伝統文化としての米作りを疑似体験することで、伝統について学ぶ機会ともなった。

(4月～11月まで随時)(食育・伝統文化活動)

3. 中池見湿地及び敦賀市内の河川にて、生態系維持のためのアメリカザリガニの駆除活動を年4回実施。(2015年4月28日、7月4日、10月3日、11月28日)(環境活動)

4. 敦賀市笙ノ川にて、生態系維持のため、外来種のおオキンケイギクの除草及び河川敷のゴミ拾い等清掃活動を、保護者と共に実施。(2015年6月5日)

5. 「未来討論会～未来のカタチ～」(敦賀青年会議所主催)に参加し、中池見水質調査、中池見での米作りについて、プレゼンテーション。青年会議所の方々と、敦賀市の未来像についてディスカッションし、発表を行った。

(2015年6月13日)(環境活動)

6. 「エコキャップアートコンテスト」(福井県ボランティアセンター)に1年生全員が参加。「ふるさとへの愛」をテーマに作品をボランティア活動の一環として制作、展示した。(2015年10月24日)(社会福祉活動)

7. 「教育フェア2015敦賀」(2015年11月1日)にて、杉原千畝と人道の港、敦賀との関わりについて、人形劇にて発表。人道、平和及び敦賀の歴史について考える活動となった。(平和・人権活動)

8. 3年生全員が、長崎にて被爆者山川氏から体験講話を聴き、長崎の城山小学

校他、長崎原爆遺跡、長崎原爆資料館と追悼碑を巡り、平和についての学習を行った。(2015年10月21日、22日)(平和学習活動)

9. 敦賀市松原海岸にて、松原の環境維持のため、松葉かき及び外来種(メリケンカルカヤ)の除去活動を実施。(11月28日)(環境活動)福井県森林管理署の方々や「気比の松原100年構想推進連絡協議会」の方から、松原海岸の松林の状況、管理方法、松葉かき、外来種除去の必要性についてお話を伺ったうえで、活動を行った。
10. 「中学生サミット in 瑞浪・名古屋」(NPO法人持続的平和研究所主催)に1年生3名が参加。超深地層研究所(瑞浪市)見学及び、高レベル放射性廃棄物の地層処分についてのディベートに参加。(2016年1月9日~10日)(エネルギー学習活動)
11. 3年生全員が、九州国際大学国際関係学部の学生、准教授、及び韓国、中国からの留学生と交流。カンボジアの小学校に絵本を贈る活動について話を聞き、学生や留学生から、国際理解、国際協力の大切さについて学ぶ機会となった。(2016年1月20日)(国際理解活動)
12. 「つるが環境フェア2016 Green Picnic」(敦賀市・2016年3月5日予定)に、水質調査、稲作等環境維持活動に関する活動についてパネル展示にて参加。(環境活動)
13. 平成27年度福祉教育推進校(社会福祉法人敦賀市社会福祉協議会)として、福祉啓発ポスターの作成、保育園児との交流を図った。(その他、社会福祉活動)
14. 学習成果発表会(2016年2月20日)
1年間を通して、班別に活動してきた内容について、各班パワーポイントとポスターを作成し、プレゼンテーションを行い、総括する。

今後の展望

来年度以降は、研究内容、活動内容について、従来の学習テーマを継続し、発展させていく一方で、各生徒の興味関心を重視し、生徒が自らテーマ設定をし、活動内容の意義を確認しながら新たな活動の展開も模索していきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()